

個性的全国のマンホール



各地のマンホールのふたの写真が並ぶ会場＝川西市

鬼太郎や恐竜…90種類 川西で写真展 31日まで

全国各地の名所や名物などがデザインされたマンホールのふたの写真展が、川西市下財町の市郷土館で開かれている。個性的で地域色あふれる約90種類のふたの写真が並んでいる。31日まで。

写真は「デザインマンホール100選」の著者の池上修さんと池上和子さんが撮影した。

漫画家の故・水木しげるさんの故郷、鳥取県境港市のふたは「ゲゲゲの鬼太郎」をデザイン。鬼太郎の髪の毛の間からひょっこりと、目玉おやじが顔をのぞかせている。広島市のふたには、水色や緑色などカラフルな千羽鶴が並んでいる。このほか、花や城、恐竜、祭りなどをデザインしたふたも紹介されている。

一般300円、高校・大学生200円、小中学生150円。月曜休館。問い合わせは、川西市郷土館(072・794・3354)。

(太田康夫)